

金庫株

ツッコミ質問

納税資金の確保



金庫株について説明してください

金庫株とは、会社自身が発行した株式を買い戻して保有している状態です。

通常、株式を発行会社に売却した場合には、総合課税として、最高55%の税率で課税されてしまいます。しかし、株式を相続した人が、相続が発生してから3年10ヶ月以内に、その株式を発行会社に売却した場合には、本来、総合課税とされるところが、20.315%の分離課税となるので、税金コストを抑えて譲渡することが可能です。



金庫株について説明してください

金庫株の活用で留意する点は、剰余金の分配可能額を超えて、自社株の取得を行うことができないことです。

剰余金の分配可能額とは、累積されてきた税引後利益の合算ですが、この範囲でしか金庫株の買取はできません。また、純資産の金額が300万円を下回る際には、剰余金の配当ができないという制限があります。



金庫株について説明してください

実際に金庫株を買い取る際には、現金が必要になるので、会社のキャッシュフローに悪影響が出るかもしれません。